

令和5年 第9回

東京都教育委員会定例会議事録

日 時：令和5年6月8日（木）午前10時

場 所：教育委員会室

令和5年6月8日

東京都教育委員会第9回定例会

〈議 題〉

1 議 案

第45号議案から第47号議案まで

東京都公立学校教員等の懲戒処分等について

2 報 告 事 項

(1) 令和5年度東京都公立学校教員採用候補者選考（6年度採用）の応募状況について

教 育 長	浜 佳 葉 子
委 員	山 口 香
委 員	秋 山 千 枝 子
委 員	北 村 友 人 (欠 席)
委 員	新 井 紀 子
委 員	宮 原 京 子

事務局 (説明員)

教育長 (再掲)	浜 佳 葉 子
----------	---------

次長	田 中 愛 子
----	---------

教育監	藤 井 大 輔
-----	---------

総務部長	山 田 則 人
------	---------

人事部長	吉 村 美 貴 子
------	-----------

(書 記)	総務部教育政策課長	小 川 謙 二
-------	-----------	---------

開 会 ・ 点 呼 ・ 取 材 ・ 傍 聴

【教育長】 ただいまから、令和5年第9回定例会を開会します。

本日は、北村委員から所用により御欠席と御連絡を頂いています。

本日は、朝日新聞社ほか6社からの取材と、1名の傍聴の申込みがありました。また、朝日新聞社ほか5社から、冒頭のカメラ撮影の申込みがありました。許可してもよろしいでしょうか。—— 〈異議なし〉 ——では、許可します。入室してください。

日程以外の発言

【教育長】 議事に入ります前に申し上げます。

東京都教育委員会において、一度注意してもなお議事を妨害する場合には、東京都教育委員会傍聴人規則に基づき退場を命じます。特に誓約書を守ることなく、退場命令を受けた者に対しては、法的措置も含めて、厳正に対処します。

なお、拍手等により可否を表明することや、入退室する際に大声で騒ぐ、速やかに入退室しないといった行為も退場命令の対象となります。

議事録署名人

【教育長】 本日の議事録の署名人は、山口委員にお願いします。

前々回の議事録

【教育長】 4月27日の令和5年第7回定例会議事録につきましては、既に御覧いただいたと思いますので、よろしければ御承認を頂きたいと思います。よろしいでしょうか。—— 〈異議なし〉 ——では、4月27日の令和5年第7回定例会議事録については御承認を頂きました。

5月25日の令和5年第8回定例会議事録は、お配りしていますので、御覧いただき

まして、次回の定例会で御承認を頂きたいと思えます。

次に、非公開の決定です。本日の教育委員会の議題のうち、第45号議案から第47号議案につきましては、人事等に関する案件ですので、非公開としたいと思えますが、よろしいでしょうか。―― 〈異議なし〉 ――では、ただいまの件につきましては、そのように取り扱います。

報 告

(1) 令和5年度東京都公立学校教員採用候補者選考(6年度採用)の応募状況について

【教育長】 それでは、報告事項(1)「令和5年度東京都公立学校教員採用候補者選考(6年度採用)の応募状況について」の説明を、人事部長、お願いします。

【人事部長】 それでは、令和5年度の東京都公立学校教員採用候補者選考の応募状況について報告させていただきます。

「2 応募状況の概要」を御覧ください。(1)全体の状況です。全ての校種を合わせました応募者総数は9,465名と昨年度より27名、0.3%増加しました。応募者総数につきましては、平成23年度以降、実は毎年約1,000人ずつ減少していたのですが、今年度は12年ぶりに下げ止まりました。

また、新卒者と既卒者の内訳を見ますと、新卒は4,210名と前年度比110.4%と増加しています。他方、既卒につきましては、5,255名で前年度比93.5%と引き続き減少しています。こちらは近年の大量採用によりまして、既卒者層が順次合格していることなどが背景と考えています。

応募倍率、採用見込み者数に対する応募者の割合につきましては2.7倍と、昨年度の3.3倍から低下しています。こちらは、参考の表にもありますように、応募者数が増加した一方で、採用見込み者数も増加しているためです。今年度の採用予定者数は、令和6年度のところを御覧いただきますと、直近20年で最多の3,480名を予定しております。

(2) 校種別の状況です。小学校全科におきましては、応募者総数は2,603名で、昨年度より350名、11.9%の減少でした。応募倍率は1.8倍となっています。こちらも35人学級の進行などによります近年の大量採用によりまして、既卒者層が順次合格して減少していることが大きな要因の一つとして考えていますが、引き続き非常に厳しい状況です。

中・高共通及び小・中・高共通におきましては、応募者総数は4,821名と昨年度より234名、5.1%増加、応募倍率は3.8倍となっています。特別支援学校では、応募者数は593名、昨年度と同じでして、応募倍率は1.6倍となっています。

(3) に、今回新設しました選考等についての結果をお知らせしています。①大学3年生前倒し選考につきましては、応募者数2,858名と多数の応募がありました。②都の教員経験者を対象としたカムバック採用につきましては117名の応募、③社会人経験者特例選考、こちらは民間企業からの転職希望者が採用選考合格後2年以内に教員免許を取得すればよいという仕組みを昨年導入したのですが、今年度は年齢要件を40歳から第二新卒に当たる25歳以上まで引き下げました。希望者は216名と、昨年度から大幅に増加しています。全体を通じまして、昨年度から行ってきましたPRの内容、方法の充実、また志望者のニーズに応じました採用選考の見直しなどにより、教員を目指す層が一定程度活性化しつつある兆しが垣間見える一方、まだまだ厳しい状況が続いていますので、引き続き働き方改革、また教職の魅力向上に向けた取組の一層の推進が必要と考えています。

「3 今後の日程」です。教養問題、論文等の第一次選考を7月9日日曜日に行いまして、第一次選考合格発表は8月7日月曜日を予定しています。大学3年生前倒し選考の選考通過者につきましても同日に発表をする予定です。その後、面接等の第二次選考を行いまして、最終合格日は民間企業の内定日10月1日より少し早い、9月29日金曜日を予定しています。

次のページに教科別応募者の詳細につきまして、個々の校種、教科別に掲示させていただいていますので、御覧いただければと思います。

説明は以上となります。

【教育長】 ただいまの説明に対しまして、御質問・御意見がありましたら御発言

をお願いします。

秋山委員、お願いします。

【秋山委員】 採用に向けて、新しい取組をされて効果が出てきているということで、よかったと思います。中途退職を予防するために、最終合格発表が9月に早くなったということと併せて、早めに研修を実施してはどうかと思います。前回の委員会でも、座学の研修はもうたくさんやられているということでしたので、実際に学校、現場に入って、あるいは配置していただいて、早く学校に慣れる、もう教員になるのだという自覚を持って4月を迎えるというのもいいのではないかと思います。検討していただけないでしょうか。

【人事部長】 社会人からの転職者等につきましては、今年度新たに事前研修も予定していますので、全体の研修の充実に努めていきたいと思います。

【教育長】 ほかはいかがでしょうか。

新井委員、お願いします。

【新井委員】 私は大学3年生の前倒し選考はとてもいい制度だと思っていて、私の経験から言うと、意外に千葉大学や、あるいは東京理科大学のようなところの数学専攻の非常に良くできて専門性も高い学生で、高校の数学教員を目指した人が教員専攻に落ちるといったケースがとても多いです。なぜかという、多分、面接慣れをしていないせいらしいですね。教員養成の教育学部は、やはり学校の教員OBの方が先生をされて、日頃のゼミなども通じて面接の準備を念入りにされるようなのですけれども、普通の数学科卒業だとあまりそういうことをされないのが、初めての面接で落ちてしまうということが結構あるようなのです。これからAI技術の進展などで、特に数学や情報の指導要領内容が目まぐるしく変わる中、本当は専門性の高い方がされた方がいいと思うのですけれども、はきはき度が少ないなど、一発の面接で失敗される方が少なくないと認識をしています。あまり数学科でもそういうことを目指して授業などもしていないので、上手にそれを採れるように、大学3年生の前倒し選考をして、一回練習、経験をさせてみる、あとは企業ではインターンシップが進んでいますから、学校もインターンシップのような形で、教育実習ではなくて、何かインターンのような形を、例えば内定者にインターンのような機会を提供する、あるいは最近、

部活などいろいろなものを外部にとのお話が出ているので、そういう人材として登録をしていただいて有償でしていただくなど、そういうことでなじんでいく機会を提供するといいいのかなと思います。

【人事部長】 今、最後におっしゃっていただいた、学生さんたちにも教育現場に少しでも入ってもらいたいということで、試験を実施した会場で実はTEPROの登録の紙を置いてPRをしています。昨年度もそれで結構TEPROに外部人材として登録いただいて、学校現場を経験したという声も聞いていますので、そちらのPRも引き続き努めていきたいと思っています。ありがとうございます。

【教育長】 ほかはよろしいでしょうか。

宮原委員、お願いします。

【宮原委員】 御説明ありがとうございました。確認なのですが、仮に今年度、来年度採用の3,480名が合格して、9月29日に最終発表をされたとして、これらの方は企業との内定も含めて持っていらっしゃるのではないかと推定をするのですけれども、その場合どのぐらい教員に最終的に就職されるものですか。基本的なことで申し訳ありません。

【人事部長】 最終合格から任用までに至らない人は毎年大体1割ぐらいかなと考えています。

【宮原委員】 そうすると、1割ぐらいは併願の企業内定に行ってしまうけれども、それはそれほど例年変わっていませんか。

【人事部長】 辞退される人は大体1割ぐらいですが、その全部が民間に行ってるのか、例えばふるさとの学校に行ってるのか、あるいは大学院に進学されているのかというのはつかみかねているところではありますが、大体1割です。

【宮原委員】 それは特に近年変わっていないということによろしいですか。

【人事部長】 変わっていません。

【教育長】 ほかはよろしいでしょうか。

ほかにありませんようでしたら、本件につきましては報告として承りました。

参 考 日 程

(1) 教育委員会定例会の開催

6月22日(木) 午前10時

教育委員会室

【教育長】 次に今後の日程について、教育政策課長、お願いします。

【教育政策課長】 次回の定例会は、6月22日午前10時より、教育委員会室にて開催させていただければと思います。

【教育長】 ただいま説明がありましたとおり、次回の教育委員会につきましては、6月22日に開催したいと思いますが、よろしいでしょうか。—— 〈異議なし〉

日程そのほか、何かありませんでしょうか。

それではこれから非公開の審議に入ります。

(午前10時16分)